

住民参加による植生管理について

淀川での実施状況

流域		中流右岸域	中流左岸域
地区・地点		三島江野草地区（高水敷切り下げ区域）	点野野草地区（低水敷の砂州、ワンド）
状況	活動内容	三島江野草地区高水敷切り下げ地の利用環境維持を目的に、公園利用者 10～20 名、地元中学生 10 名程度、学生ボランティア 50～100 名の参加を得て、年間 2～3 回草刈り作業を実施。    	点野野草地区の砂洲・ワンドにおいて毎年 2～3 回の水辺の環境学習イベント、毎月 1 回の植生管理活動を実施。点野小学校 4 年生の総合学習の場としても利用されている。    
	実施主体	淀川管内河川レンジャー	淀川管内河川レンジャー、ねや川水辺クラブ、摂南大学エコシビル部、淀川愛好会等
	参加者	学識者、野鳥の会メンバー、つり愛好家、学生ボランティア	各実施主体の構成メンバー（学識者、学生、地域住民）、一般地域住民、小学生、留学生等
活動の特徴		・学生ボランティア団体との協力関係による大人数による草刈り ・つり愛好家との協力関係による良好なワンド周辺環境の維持 ・ワークキャンプの同時開催による、維持管理活動＋楽しみ※の付加（※淀川河川敷で採取可能な材料を使ったクラフトづくり等）	・サポート組織の充実 ・地域社会への定着（継続的な実施） ・小学校の環境学習としての位置づけ ・地元大学との協力体制
問題点・課題		・切り下げ時に目標とした環境の未達成（河畔林の高木化） ・草刈りの目標・管理水準の共有不足 ・地域住民参加者の不在	・河畔林の高木化 ・閉鎖性ワンドの水質悪化 ・ワンド周辺環境の質的劣化 ・参加者の固定化